

施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (2)住環境の向上

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

基本施策が目指す姿

市民が、快適で安全・安心な住環境の整ったまちで暮らしています。

関連する分野別計画

亀山市住生活基本計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	あんしん賃貸住宅、高齢者向け賃貸住宅等の登録戸数	戸	4	H28	18	-	-			30
2	条例に基づく空き家の管理指導に対する是正割合	%	-	H28	12	27	27			100
3	空き家情報バンクの契約成立件数(累計)	件	8	H28	9	11	14			30
4										
5										

市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	快適な住環境が整っている	重要度 1.22	1.15		
		満足度 0.17	0.16		
2		重要度			
		満足度			
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	<p>良好な住宅の維持・確保については、民間賃貸住宅の借り上げ準備により、まずまず施策推進が図れており、個別判定をBとしている。木造住宅耐震や狭隘道路の解消など安全・快適な住環境の整備も、まずまず施策推進を図ることができ、個別判定をBとしている。空き家の対策・利活用については、特定空き家解消に向けた協議を進めることができ、順調に施策推進が図れたことから個別判定をAとしている。基本施策に設定している2指標のうち、空き家情報バンクの契約成立件数で実績値の上昇がみられ、基本施策の目指す姿に向け、各施策の推進により、まずまず近づけることができていると考えられることから、総合判定をBとした。</p>
反省点・課題	
<p>亀山市公営住宅長寿命化計画に基づき、老朽化した耐震性のない住宅の住替を進める必要がある。住替えに適した立地条件のよい民間賃貸住宅の借り上げに関しては、土地所有者や事業者に必要な周知と理解及び情報発信が必要である。</p> <p>空き家の対策を進めるため、所有者に対する個別相談の強化や空き家情報バンクの登録件数を増加させる周知やPRが重要である。</p>	

今後の展開方針

民間賃貸住宅借上げについては、市営住宅の老朽化に伴う住替状況や入居希望者の意向を踏まえ、亀山市住生活基本計画に基づき、計画的に確保していく。

固定資産税等納税通知書への空き家・耐震対策事業のチラシの同封を継続するとともに、建築・不動産等の関係団体の協力を得ながら、空き家所有者に対して、情報提供と利活用を働きかけていく。また、国の補助事業を活用し特定空家の解消のため、所有者との協議を進めるとともに、空家調査を実施し、老朽化等の進んだ特定空家の指定について推進していく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		良質な住宅の維持・確保					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
		亀山市住生活基本計画(2019.3)において、今後10年間で、市営住宅として確保する民間賃貸住宅を80戸と定めたことから、事業者へ周知を行い、事前相談を進めた。		既存市営住宅の近隣で、住替に適した立地条件の物件(1棟8戸)について申請があったことから、借上げ判定等の手続きを実施する予定であり、良質な住宅の維持・確保は、まずまず進んでいる。			
まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17006	民間活用市営住宅事業		主	44,900 / 42,540	B	B
	19002	住宅取得支援事業		主	3,750 / 3,750	A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		安全・快適な住環境の整備					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
		木造住宅の耐震診断、補強計画、補強工事、除去工事等について、一定の補助件数を確保することができた。また、関係団体と連携して、木造住宅所有者宅を訪問し、耐震対策のPRに努めた。狭隘道路後退用地の確保については、予定していた路線、建替申請時及び地籍調査に合わせて中心線立ち合いを行った。		木造住宅の耐震化率が、昨年度の87.4%から88.1%に上昇し、安全・安心なまちづくりに寄与することができた。また、狭隘道路後退用地の確保については、地元等の都合により、路線単位での中心線立会、寄付件数ともに指標の計画値を下回ったが、狭隘道路の解消に一定の成果があり、安全・快適な住環境の整備は、まずまず推進できている。			
まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17017	狭隘道路後退用地整備事業		主	7,710 / 7,228	B	B
	17023	地震対策・木造住宅補強事業		主	31,451 / 30,643	B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		空き家の対策・利活用					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
		空き家等対策として、特定空家等及び管理不全状態の空家等の所有者に対し、改善指導を行った。また、固定資産税等納税通知書発送時に、空き家活用に関するチラシを同封したほか、ホームページの空き家情報バンクの構成を一部修正した。		特定空家の残り3件について所有者と具体的な相談を進めることができた。また、空き家情報バンクの登録が21件、成約が3件あり、空き家の対策・利活用は、順調に推進できている。			
順調に進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17008	空家等対策事業		主	6,100 / 1,122	A	A
					/		
事業以外の取組	内容					活動	成果